



## 防災意識を高める

### 防災訓練開催

9月8日、小学校体育館と町民会館で防災訓練を開催しました。訓練では、避難テントや簡易ベッドの設営体験をはじめ、津別町赤十字奉仕団によるおにぎりや豚汁の炊き出し訓練を実施。また、陸上自衛隊美幌駐屯地の協力により、野外入浴設備の展示やドローン飛行が実演されました。津別消防署による消防資機材の展示と紹介も行われ、参加者はさまざまな防災関連設備があることを実感。この訓練には121人が参加し、多くの町民が防災への意識を高める機会となりました。



①避難テントと簡易ベッドの設営体験  
②炊き出し体験  
③野外入浴設備の展示



## 地域おこし協力隊着任式

### 大口さんに辞令交付

9月17日、新たな地域おこし協力隊員として、千葉県から大口桂子さんが着任しました。大口さんは、「移住促進・地域プロモーション」をミッションとし、空き家バンクなどの移住・定住促進に向けた活動を行っていきます。



## 収穫作業で汗を流す

### アソビバ! つべつ「おこめとカボチャ収穫」

9月14日、達美の農場で社会教育事業のアソビバ! つべつ「おこめとカボチャ収穫」が行われました。5月に自分たちで植えて成長した稲やカボチャの収穫作業を行うため、JAつべつ青年部の方々を講師として招き、鎌の使い方や刈り方のコツなどを教わりました。



## オーケストラの迫力とハーモニー

### 日本フィルセミナーコンサート開催

全国から参加したアマチュア演奏家を指導する「つべつ日本フィルセミナー」が今年も開催。9月1日には、その集大成である「第27回日本フィルセミナーコンサート」が中央公民館で行われ、観客はオーケストラの迫力と美しいハーモニーを満喫しました。



## 創立60周年を記念して

### ライオンズクラブが町に寄附

9月12日、通所型介護予防事業(ミズナラ倶楽部)の送迎に使われている福祉車両が納車されました。この車両は、津別ライオンズクラブより、今年の春に創立60周年を記念する奉仕活動としていただいた寄附金を活用して購入したことになります。



## 人と木や森との関わりを学ぶ

### 木に触れて学ぶ木育授業を実施

8月21日、小学3年生・5年生を対象に、木材に対する親しみや木の文化への理解を深めることを目的とした木育授業が行われました。講師に木育マスターの萩原寛暢<sup>はぎわらひろのぶ</sup>さんを招き、子どもたちは木に触れて多くのことを学びました。



## ニュージーランドへ旅立つ

### 津別町青少年海外研修派遣事業出発式

9月4日、津別高校生の青少年海外研修派遣事業出発式が行われました。今年は4名が参加し、9月9日から10日間ニュージーランドに滞在。生徒はそれぞれ、生活文化や交通事情などの研修テーマを設定しており、12月に成果報告会を開催する予定です。